



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和8年9月30日(水)
創立74周年 No. 6

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



運を動かせ、うんと動かせ運動会♪

校長 河野 芳浩

校長室に、大きな旗が二つ保管されています。一つは、立派な刺繍が施されている校旗です。入学式や卒業式などの儀式的行事で舞台上に設置します。もう一つは、優勝旗です。運動会の赤白対抗戦での勝者に贈られます。

私が着任した令和5年度は、まだ新型コロナウイルス感染症の予防体制が徹底されていました。行事も制限され、3密を極力避けるなど、様々な工夫をしながら「できることをできる範囲で」行っていました。運動会においても様々な工夫を重ねてきましたが、その一つが「赤白の組分けを行わない運動会」の実施でした。実施時間の短縮、児童同士の接触の軽減、練習時間の削減など、様々な配慮が必要だったためです。

その後も年度ごとに反省や改善を繰り返し、その時にできる最善の方策を選択して運動会を行ってきました。今年度は、昨年度の反省や子どもたちからの要望・願いに耳を傾けながら検討を重ね、赤白対抗戦を復活させることにいたしました。

優勝旗に取り付けられているリボンを見ると、一番古いものには「平成元年度 優勝 白組」、一番新しいものには「令和元年度 優勝 白組」と書かれていました。記録によると、令和2年度は半日開催・3学年ずつの前後半実施で、組分けなしの運動会を行ったそうです。それ以降対抗戦は見送られていたため、今年度は実に7年ぶりの赤白対抗戦となります。半日開催というスタイルは変わりませんが、競技内容やプログラム進行を工夫して行う「新しい形の運動会」です。今年度の勝者用のリボンも新調しました。令和8年度のリボンには、どちらの組の名前が書かれるか楽しみです。

赤白の対抗戦ですから、当然結果として勝ち負けがつきます。全校児童の半分为勝ち、半分为負けることになります(過去30年の間に一度だけ引き分けがあったようです)。

勝負は「運がどちらに傾くかで決まる」と言われることがありますが、その運は決して「良し悪し」ではないと考えます。昭和の大コメディアン・萩本欽一さんは著書の中で、「運は良し悪しではない。運は、使うか、貯めるかなのだ」と述べておられました。

どう頑張っても勝負に負けることはあります。努力が足りなかったのか、力が及ばなかったのか、反省点や振り返りにはきちんと向き合いながらも、「運が悪くて負けたのではない、運を貯めたんだ」と捉える。そして勝ったときは、「これまで貯めてきた運を使ったのだ」と捉える。そうすることで、勝っても奢らず、負けてもその悔しい経験が次のチャレンジへの糧に変わっていくように思えます。

新しい形での運動会、どの学年の児童にとっても初めての赤白対抗戦です。大きなチャレンジです。運はどちらに傾くか——まさに「運を動かす運動会」です。全力を出して勝利を目指し、勝っても負けてもお互いの頑張りを認め合えるすてきな時間を、子どもたち、そして応援して下さる多くの皆様と共に過ごしたいと思います。

今月も「みとめあい まなびあい そだてあい」の学校教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

10月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございませう。けんこうがまもられてよろこびいっぱい、にこにこえがおのたのしいまいにちがすごせますように♪

大きな悲しみや苦しみのなかにあるすべての方々へ

一日も早くその悲しみや苦しみが取り除かれ、ご家族の上に慰めと癒やしと平安が豊かに与えられますようにと願います。心おだやかに過ごしてください。